

平成 28 年度 社会福祉法人金ケ崎町社会福祉協議会事業報告書

【総括】

平成 28 年度は、第 2 期となる『金ケ崎町地域福祉活動計画』の初年度にあたり、「誰もが健やかで安心して暮らせる地域づくり」を基本理念に初めて町と協働で福祉座談会を 6 生活圏で開催し、住民ニーズや福祉課題の把握に努めました。

さらに社会福祉法の改正により、社会福祉法人の制度改革が進められ、経営組織のガバナンスの強化等が義務づけられ、定款の改正や規程の整備、組織の再編などを図りました。

国や町が推し進める“地域包括ケアシステムの構築”を目指し、「介護予防・日常生活支援総合事業」に移行し、生活支援コーディネーターの配置や訪問事業所、通所事業所で緩和型サービスの導入を進めました。

8 月に発生した台風 10 号により甚大な被害を受けた 2 市 1 町から県内市町村社協に対し、広域支援活動の協力要請があり、当社会福祉協議会としては、岩泉町災害ボランティアセンターに 3 か月にわたり職員派遣やボランティア派遣を行いました。

10 月に行われた“希望郷いわて国体”や“希望郷いわて障害者スポーツ大会”では、ワークステーションかねがさきが弁当納品や開会式に参加するなど支援の輪を広げました。

また、介護保険事業では、前年度からの介護報酬改定や利用者の減少による減収や職員不足に対応するため、通所介護では試行的に 1 月から日曜日を休所し、訪問入浴ではサービス提供日を週 4 日間に集約するなど事業の合理化を図りました。

このように、平成 28 年度も人と人とのつながりを大切にし、多くの方々に支えられながら社会福祉協議会は、地域福祉の推進に取り組みました。

【法人運営部門】

1. 法人運営事業

(1) 運営管理

適切な法人運営と効率的な事業経営を行うため、財務人事管理をはじめ、組織全体にかかわる企画・調整等を行いました。

① 理事会(6 回/5 月 23 日、10 月 18 日、12 月 19 日、1 月 20 日、2 月 14 日、3 月 23 日)

② 評議員会(4 回/5 月 30 日、10 月 25 日、1 月 30 日、3 月 29 日)

- ③ 役員協議会(1回/9月1日)
- ④ 監査会及び出納調査(4回/5月16日、8月25日、11月22日、2月27日)
- ⑤ 会計顧問(税理士)による会計検証(毎月)
- ⑥ 福祉サービス評価、苦情解決委員会(1回/3月11日) 苦情件数5件(居宅1件、ヘルパー事業所2件、ワークステーション2件)
- ⑦ 衛生委員会/毎月定例1回

(2) 役職員等研修

サービスの質の向上や多様な住民ニーズに対応するため、役職員研修の実施や、県社協、町、県等の研修会に積極的に参加し、リスクマネジメントや職員の資質向上に努めました。

また、現場の実情や課題を把握し、サービスの向上や働きやすい職場環境づくりを目指すために、新たに全職員を対象とした職員意見交換会や中堅若手職員による検討会議を開催いたしました。

① 職員会議

- ・ 全職員による月例会議「全体ミーティング」
- ・ 部署代表者による月例会議「セクション会議」
- ・ 各部署月例会議(ミーティング)
- ・ 職員意見交換会(6月14日、16日、20日)福祉センター/職員76名参加
- ・ 中堅職員課題検討会議(7回/6月~1月)メンバー中堅若手職員9名
- ・ その他業務検討、調整会議等随時

② 役職員研修

- ・ 役職員視察研修(6月1日~2日)福島県西郷村社会福祉協議会・栃木県那須町社会福祉協議会/役職員18名参加
- ・ 胆江地区社会福祉連絡会役職員研修会「岩泉町災害ボランティアセンターの活動とこれから」/ゲストスピーカー:岩泉町と岩手県の社協職員の計3名(2月17日)プラザイン水沢/役職員22名参加
- ・ 各事業所(訪問介護・入浴、通所、障がい)月例研修
- ・ 社会福祉協議会職員研修/「交通安全教室」(9月13日、15日)/77名出席
- ・ その他関係機関主催研修会等

③ 委員研修

- ・ 日常生活自立支援事業生活支援員・心配ごと相談員合同研修会(9月12日)奥州市総合福祉センター／日常生活自立支援事業生活支援員5名参加
 - ・ 奥州地域福祉サービス苦情解決情報交換会／水沢地区センター／苦情委員1名参加
 - ④ 介護予防・日常生活支援総合事業先進地視察研修(2月21日~22日)山形県寒河江市天童市／町内事業所役職員12名参加
 - ⑤ 台風10号災害職員派遣(9月9日~11月27日:44日間/16人)岩泉町災害VC
- (3) 避難訓練/2回(8月18日、3月10日)
- (4) 金ケ崎町社会福祉協議会への寄付
- 多様な福祉ニーズに対応し地域福祉の充実を図るため、香典返し、バザー・イベントの益金、物品寄付などみなさまの様々な善意で造成されています。
- ① 福祉基金寄付43件 1,277,052円
 - ② 指定寄付(デイサービス、ワークステーション)2件 127,500円
 - ③ 物品寄付(点字カレンダー、児童書、タオル等)19件
- (5) ジャパンゴルフツアー福祉車両寄贈 スズキアルト 1台
- (6) 介護職員等処遇改善
- ① 介護職員処遇改善加算金を活用し、職員の待遇改善を図りました。
 - ② 処遇全般の改善や教育・研修体制の整備、福利厚生・職場環境の充実に努めました。

2. 指定管理事業

町の指定管理者制度により施設管理を行いました。

- (1) 北部学童保育所
- (2) 三ヶ尻学童保育所
- (3) グループリビング「壮健ホーム」

3. 各関係機関・団体等との連携協力

- (1) 地区社会福祉推進協議会
 - ① 6生活圏社会福祉推進協議会への助成。福祉講演会、敬老会等地区福祉事業に活用
 - ② 地区社会福祉推進協議会長・自治会福祉部長・ゆいっこハウス運営委員会会長・地区生涯教育センター所長合同会議(4月28日)16名出席
- (2) 金ケ崎町民生委員児童委員協議会定例会(月例)への出席
- (3) 町内福祉施設等協働事業「福祉施設等研修会」(2月28日) 92名参加

福祉施設等連絡会(町、21事業所)の職員がサービス向上を目指し、視察研修・情報交換等により連携を深めました。

- ・町内施設3箇所(ワークスカねがさき、たんぽぽ保育園、特養ホームあすなろ)視察
- ・グループワーク「地域包括ケア体制の構築について」(分科会・全体会)
- ・情報交換会/金ケ崎町福祉センター

【地域福祉事業部門】

1. 地域福祉推進事業

- (1) 第42回金ケ崎町社会福祉大会(11月17日)中央生涯教育センター/約320名参加
記念講演「持続可能な地域社会を作るために」
講師/長山洋氏(岩手県社会福祉協議会会長)
 - ・金ケ崎町社会福祉大会長表彰/社会福祉事業功労者10名、社会福祉奉仕功労者2名、共同募金運動功労団体1団体、褒賞(在宅介護者)3名、感謝状1団体、中央共同募金会感謝状1団体、岩手県共同募金会感謝状1名
 - ・福祉作文入賞者表彰6名、審査員特別賞3名、応募総数20点(小学生)。
- (2) 第51回金婚を祝う会(6月24日)みどりの郷/28名参加
 - ・金婚申請者15組うち出席した14組に記念写真及び褒賞状を贈呈し祝福。
- (3) 元気高齢者促進事業「ゆいっこハウス」/年間活動回数315回、延べ参加者数4,586人
 - ・活動地区31団体に助成。
- (4) 一人暮らし高齢者のサロン「青い鳥のつどい」(7回/4月21日、6月23日、9月28日、10月27日、11月24日、1月26日、3月22日)/延べ参加者数171名
- (5) ひとり親家庭交流事業への支援・子育て推進事業「親と子のつどい」2回開催
(7月23日)仙台うみの杜水族館/親子14組35名参加
(12月17日)街地区センター/親子3組10名
- (6) 金ケ崎町ファミリーサポート事業
子育てを手伝ってほしい方(おねがい会員)と、子育てを手伝ってくださる方(まかせて会員)をつなげる会員制の子育て支援ネットワーク「ファミサポかねがさき」
会員数79名(おねがい会員32名、まかせて会員35名、両方会員12名)利用件数5件
 - ・ファミサポ遠足交流会(10月16日)一戸町・いわて子どもの森/10名参加

- ・ファミサポ講習会(3月11日)金ヶ崎温泉駒子の湯/14名参加
- (7) 介護者リフレッシュ交流事業(2回/7月13日:気仙沼、10月28日:登米)延30名参加
参加者同士が情報交換や交流を行うなかで親睦を深め、介護疲れ、介護負担軽減と心身のリフレッシュを図りました。
- (8) 福祉マップ事業/長志田自治会、千貫石自治会で「福祉マップをつくってみよう」を
実践し、マップを作製しました。(町内4自治会でマップ整備済)
- (9) 長寿100歳祝賀行事/3件
町と連携し、誕生月の100歳記念祝賀行事においてお祝いの花とケーキを贈呈し祝福。
- (10) 金ヶ崎町地域見守りネットワーク協力(協力団体40)/協力事業者からの通報0件
- (11) ボランティア連絡協議会との連携事業
 - ① 雪かきボランティア事業「スノーバスターズ」総会(12月7日)
 - ・一斉活動6回、延べ56件訪問、学生、企業ボランティア等延べ201名。
 - ・除雪、見守り支援と小地域ネットワーク活動、ボランティア基盤整備を目標に、パトロール、声掛けを実施。
 - ・地域住民による歩道除雪活動(岩手県、金ヶ崎町と住民参加型歩道除雪協定を締結)
 - ② ハウスヘルパーボランティア「住宅改修サービス」(2回/6月27日、10月22日)家屋
等の補修改修4世帯、ボランティア延べ7名
 - ③ ふれあいレターサービス(暑中見舞、年賀状) 延べ800通を発送
ボランティアや町内小中高校と連携し、児童・生徒から75歳以上の一人暮らし高齢者
や高齢者世帯等に季節のメッセージを届けました。
 - ④ 視覚障がい者とボランティアの交流会「第27回ふれあいハイキング」(9月3日)フラ
ワーガーデンホテル森の風鶯宿/16名参加
 - ⑤ 「町内クリーン作戦」(6月4日)75名参加
ボランティア同士の緊急時による連絡訓練も兼ね、一堂に会し清掃活動を実施
 - ⑥ 災害ボランティアバスの運行(9月25日、10月9日、11月3日)岩泉町 延べ41名
- (12) 地域福祉懇談会の開催
地域の情報や生活課題を発見・共有し、その解決と暮らしやすい環境づくりを進める
ために福祉懇談会を開催いたしました。
 - ・街地区(2月6日)参加者19名
 - ・三ヶ尻地区(2月7日)参加者11名

- ・ 南方地区(2月9日)参加者 14名 ・ 西部地区(2月9日)参加者 14名
- ・ 北部地区(2月14日)参加者 31名 ・ 永岡地区(2月16日)参加者 23名 合計 112名

(13) 生活支援コーディネーター配置

生活支援サービスの充実のために、地域資源の開発、人材の養成・発掘、ニーズ把握ネットワークの構築を図るために、1名配置。

(14) その他、交通弱者や買物弱者と呼ばれる人々の不便解消を目的に『買い物支援バス』を6月から試行的に実施。運行回数20回、利用者数延128人。

2. 福祉相談事業

町民の日常的な困りごとを早期に解決し、安心した生活が送れるよう各種相談窓口を設置し対応しました。

- (1) ふれあい福祉相談(ふれあい相談員による困りごと相談)毎週金曜日/8件
- (2) 社協窓口相談 309件(困窮相談 20件、ボランティア 5件、介護相談 5件、障がい相談 187件、日常生活自立支援事業 86件、生活支援相談(被災地相談)6件)
- (3) 障がい者不利益取扱い相談(岩手県社会福祉協議会受託事業) 1件
- (4) 弁護士による無料法律相談(12月2日) 7件

3. 広報啓発活動

(1) 広報発行/全戸配付

- ① かねがさき社福だより第220～225号、共同募金委員会第2号「かねがさきのあかいはねこ News」
- ② ボランティアだより第22号

(2) ホームページによる情報発信 URL <http://www.isop.ne.jp/atru/kinsyakyo/index.html>

(3) 第69回岩手県社会福祉大会への参加(8月26日) 盛岡マリオス/19名参加

- ・ 記念講演「人を動かし、地域を変える」
講師/高野誠鮮氏(元石川県羽咋市役所職員、ローマ法王に米を食べさせた男)

(4) 表彰

- ・ 厚生労働大臣表彰(佐藤嘉子様) 1名 ・ 岩手県知事表彰(高橋重貴様) 1名
- ・ 岩手県社会福祉大会長褒賞(高橋力子様、宮舘美礼子様、阿部ヤエ子様) 3名

4. 福祉の人材育成、養成関連事業

(1) 認知症家族介護教室(町保健福祉センターとの共催事業)

7月5日、10月4日、12月6日 3回開催／延べ33名参加

- (2) ボランティア研修視察旅行(7月6日～7日)群馬県方面／25名参加

ボランティアの資質向上とニーズ把握、ボランティア間の連携協力、交流を深めました。

- (3) ボランティアスクール事業12回開催／延べ人数児童・生徒212名受講、ボランティア11名、福祉協力校(町内小中高7校)として体験実習等(施設体験、キャップハンディ体験等)福祉教育への取組に協力しました。

- (4) 生活支援サポーター養成研修(町保健福祉センターとの共催事業)

2月27日～28日開催 17名修了／講師：訪問介護事業所職員2名講師派遣

5. 民間福祉活動支援

福祉団体等の会議や各種活動への職員派遣等、活動支援を行いました。

- (1) 町身体障害者福祉協会定期総会(4月21日)職員1名派遣
(2) 希望郷いわて障害者スポーツ大会・オープン競技(卓球バレー)参加(10月23日)バス運行

6. 福祉サービス利用支援

高齢者や障がい者等を支援することを目的に、資金貸付、手続き代行、情報提供等の業務を通じ、福祉サービスの利用援助及び生活支援を促進しました。

- (1) 日常生活自立支援事業

日常生活において判断が十分にできない方が地域で安心して暮らせるように福祉サービスの利用手続きや金銭管理などを援助。

- ・ 奥州地区基幹社協(奥州市社協)専門員2名、金ヶ崎地区に生活支援員7名を配置。
- ・ 現在の契約者数14名(新規2件)

- (2) 生活支援サービス事業

在宅の高齢者等が、住みなれた自宅で生きがいをもち、安心して健康に生活できるよう社会福祉協議会の公共性と独自性を生かしインフォーマル(制度外)サービスを提供。

① 配食サービス

一人暮らし高齢者や高齢者・障がい者世帯等に毎週火・金曜日に昼食弁当を1食500円で提供。調理と配達にはボランティアが活躍。

- ・ サービス日数100日1,188食提供(平均11.9食) 利用登録者29名
- ・ 調理ボランティア登録19名、配食ボランティア登録7名
- ・ 配食サービス利用者とボランティアの交流会(12月14日)福祉センター／16名参加

② 福祉有償運送(外出支援)サービス事業

福祉有償運送事業者として、寝たきりや障がい者等のため、一般の交通機関を利用できない人々の通院や公的手続きの送迎を行う外出支援サービスを実施。

- ・ 利用件数 140 件(町内 72 件、町外 68 件)、利用登録者 28 名
- ・ 運転ボランティア登録 4 名

③ 訪問理美容サービス (寝たきり、身障者等)

- ・ 利用件数 65 件、利用登録者 28 名
- ・ 理美容師ボランティア登録者 3 名

④ 衣類洗濯サービス 登録人数 0 名、利用件数 0 回

(3) 日常用具貸出事業

生活における福祉の向上を目的に、車いすや子育て支援事業としてチャイルドシートの貸出しを行いました。

- ① 車いす 8 件
- ② チャイルドシート 9 件

(4) 生活援助貸付事業

貸付相談、問い合わせ件数 47 件

① 生活福祉資金貸付事業(岩手県社会福祉協議会と連携して実施)

- ・ 貸付 33 件(福祉資金 6 件、教育支援資金 19 件、緊急小口 4 件、離職者支援 1 件、総合支援資金 3 件)
- ・ 新規契約件数 3 件(教育支援資金 1 件、緊急小口 1 件、福祉資金 1 件)

② たすけあい資金貸付事業／貸付利用 27 件

- ・ 新規契約件数 16 件

(5) 生活困窮者自立支援事業

相談件数 17 件、プラン策定件数 16 件 (奥州市社会福祉協議会実績 金ケ崎町分)

(6) ささえ愛お食事パック配給事業

失業、生活困窮などで生活費が枯渇し何日も食事が摂れていない人のためのセーフティネット(安全網)対策として緊急食(3日～1週間程度の食料)を提供。

- ・ 当年度利用件数 1 件
- ・

7. 共同募金事業

共同募金会と連携し運動を展開し、目標達成と地域への配分に努めました。

- (1) 一般募金(赤い羽根共同募金) スローガン「じぶんの町を良くするしくみ」
 - ・ 運動期間 10月1日～11月30日
 - ・ 募金総額 3,744,036円
- (2) 歳末募金(歳末たすけあい義援金) スローガン「みんなでささえあうあったかい地域づくり」
 - ・ 運動期間 12月1日～12月31日
 - ・ 募金総額 2,077,228円(配分額 1,240,000円、活動経費 195,000円、岩手県共同募金会送金 642,228円)
 - ・ 在宅者配分 247世帯(一人暮らし高齢者・高齢者世帯、母子父子世帯、介護等を要する世帯、東日本大震災避難者等)
 - ・ 配分式(12月24日)民生委員・児童委員らの協力を得て各世帯に配分
- (3) 歳末たすけあい演芸大会(12月6日) 中央生涯教育センター／17組 17演目約505名参加
町内避難者を演芸大会に招待し、益金を歳末たすけあい義援金として避難世帯等に配分。
- (4) 災害義援金 熊本地震災害義援金 24,590円 台風10号災害義援金 385,050円

8. 学童保育事業

(1) 学童保育所の運営

放課後児童対策として金ケ崎第1、金ケ崎第2、三ヶ尻、北部、西、永岡の6ヶ所で学童保育所を運営。

- ・ 開所日／月～土曜日(祝日、盆、年末年始を除く)
- ・ 延長保育／金ケ崎第1・第2、三ヶ尻、北部において午後7時まで延長保育有
- ・ 一日保育(春夏冬の長期休み期間)／午前8時～午後6時、延長保育は午後7時まで

〈実績〉

- ① 金ケ崎第1学童保育所・・・開所日数 288日／在籍数 59人
- ② 金ケ崎第2学童保育所・・・開所日数 288日／在籍数 59人
- ③ 三ヶ尻学童保育所・・・開所日数 288日／在籍数 32人
- ④ 北部学童保育所・・・開所日数 288日／在籍数 40人
- ⑤ 西学童保育所・・・開所日数 288日／在籍数 33人
- ⑥ 永岡学童保育所・・・開所日数 288日／在籍数 35人

- (2) 学童保育所保育料の母子・父子世帯の負担軽減。
- (3) 北部学童保育所増築工事（10月～12月）12月竣工。
- (4) 金ヶ崎学童保育所整備計画承認（平成30年3月完成予定）

【介護保険サービス事業部門】

1. 介護保険事業

介護保険法による介護・予防サービスを提供し、在宅福祉の推進に努めました。そして、ここ数年の利用者の減少や職員不足に対応するために、訪問入浴では、サービス提供日を週4日とし、通所介護では、1月から日曜日を試行的に休業するなど事業体制の合理化を図りました。さらに介護保険制度の持続性を高めるための地域包括ケアシステムの構築を目指して、「介護予防・日常生活支援総合事業」への移行や導入に向けた取り組みを進めました。

(1) 居宅介護支援事業所

- ① ケアプラン(要介護1～要介護5) 作成件数1,040件
- ② 介護予防プラン(要支援1、要支援2、総合支援) 作成件数277件
- ③ 要介護認定調査86件

(2) 訪問介護事業所 365日稼動／契約者数49名、一日平均20.7人

(3) 訪問入浴介護事業所 208日稼動／契約者数12名、一日平均2.1人

(4) 通所介護事業所 352日稼動／契約者数98名、一日平均21.1人

【障がい者・児福祉事業部門】

1. 障がい者・児福祉事業

(1) 多機能型(生活介護・就労継続支援B型)事業所「ワークステーションかねがさき」

- ・ 開所日／月～金曜日(祝日、年末年始を除く) 250日
- ・ 契約者数39名(生活介護事業所19名、就労継続支援B型事業所20名)
- ・ 1日平均27.7人

① ふれあい食堂

- ・ 食堂235日営業
- ・ 弁当10,940食(うち国体弁当657食、ゆいっこ弁当157食含)
- ・ ふれあい配食サービス弁当1,188食

- ・ デイサービス昼食・おやつ提供 352 日提供(1 日平均 20.8 食)
- ② 自主製品
 - ・ タオル印刷 16,989 本納品
- ③ 下請納品
 - ・ ギフト製函、自動車部品(サイドブレーキレール隠し)
- ④ 「ワークステーションかねがさき・手をつなぐ会合同研修会」(3 月 25 日)
 - 盛岡市/49 名参加

(1) 放課後等デイサービス事業所

- ① 「クレヨン」
 - ・ 開所日/月～土曜日(祝日、盆、年末年始を除く)午後 7 時まで(土曜日は 6 時) 288 日
 - ・ 契約者数 26 名(うちクレヨン・第 2 クレヨン両契約者 6 名)
 - ・ 1 日平均 11.7 人
- ② 「第 2 クレヨン」
 - ・ 開所日/月～土曜日(祝日、盆、年末年始を除く)午後 6 時まで 288 日
 - ・ 契約者数 16 名
 - ・ 1 日平均 9.8 人

(2) 指定障害福祉サービス事業所 (居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護)

- ・ 365 日/契約者数 10 名

(3) 「相談支援事業所あゆみ」

- ・ 一般相談 延べ相談件数 187 件
- ・ 計画相談 契約者数 11 名

【東日本大震災復興支援事業】

1. 生活支援相談員事業

(1) 避難者世帯 18 世帯への支援

- ① 歳末演芸大会招待/1 名参加
- ② 歳末義援金(11 月 1 日現在)18 世帯配分
- ③ 交流会招待等の情報提供、調整
 - ・ 「東日本大震災復興支援助成事業赤十字奉仕団ふれあい交流会」避難者招待 (10 月 14

日)の協力/11名参加

(2) 避難者交流サロン「金ヶ崎町さくらの会」

避難者世帯を対象としたサロンを立ち上げ、平成26年9月より活動を開始。

- ① 「お花見会」(4月26日)農業大学校・永岡温泉夢の湯/9名参加
- ② 「新緑懇親会」(5月26日)産直六ちゃん・和洋食堂/11名参加
- ③ 「前沢ぶらり旅」(9月15日)前沢温泉・来夢君/11名参加
- ④ 「赤十字奉仕団交流会」(10月14日)みどり郷・泰養寺/11名参加
- ⑤ 「晩秋バス旅」(11月30日)霊泉玉乃湯/8名参加
- ⑥ 「忘年会」(12月12日)金ヶ崎温泉駒子の湯/9名参加
- ⑦ 「反省会」(2月16日)永岡温泉夢の湯/9名参加

(3) その他被災地支援ニーズに対応した相談、調整 6件

【公益事業】

1. 高齢者共同生活支援施設「グループリビング壮健ホーム」事業

各人の支援プログラムに基づき、食事、清掃など共同で日常生活を営みながら高齢化による身体の機能低下を予防し、元気で自立した生活を維持できるように支援を進めました。

- ・入居者/2名(定員5名)
- ・食事会/毎月定例1回
- ・季節行事

- ① 春のお花見会(4月18日)北上市・奥州市/3名
- ② 夏のBBQ(7月25日)奥州市/4名
- ③ 秋の紅葉見学(10月3日)花巻市/3名
- ④ 新年会(1月16日)北上市/3名
- ⑤ 「雛まつり見学」見学(2月27日)花巻市/3名